



第12回牛久健康ウォーク2017

牛久を楽しく歩く

5月20日、「第12回牛久健康ウォーク2017」を開催し、市内外から334人が参加しました。

出発前のセレモニーでは、かっぱバンドの生演奏や中根小学校1年生の「エイエイオー」というかわいい掛け声で参加者を応援。参加者は元気に出発し、今年の新コースである「野鳥が遊ぶみずべ公園とシャトー通り散策コース」では新緑の公園と街並みを満喫しました。また、完歩後は抽選会やUSHIKU野菜豚汁を楽しんでいました。



小学校で心肺蘇生法を学習

突然の事態に、誰もが救命できる社会を目指して

神谷小学校で6月12日、心肺蘇生法を学ぶ「PUSH教室」が行われました。これは大阪ライフサポート協会が進めている取り組みで、誰でもできる胸骨圧迫とAEDの使い方を学び、突然倒れた方を救命できる地域づくりを目指しています。

市内小学校では今回が初めての取り組みとなり、神谷小学校の5・6年生が参加しました。講習では小学生にも身近な事例を取り上げ、心肺停止は誰にでも起こりうることを学びながら具体的な対処法を実践しました。

関東大会出場報告

小学生ソフトテニスで 関東大会出場

第36回関東小学生ソフトテニス選手権大会茨城県予選会において低学年男子の部で優勝した白川隼平(岡田小4年・9歳)さんが、結果報告のため6月16日に市役所を訪れました。白川選手は6歳のときからソフトテニスを始め、普段は牛久第二中学校などで練習をしています。

7月1日には第36回関東小学生ソフトテニス選手権に出場します。白川選手は「優勝できるようにがんばります!」と意気込みを語りました。



春の叙勲

受章おめでとうございます

「春の叙勲」と警察官や消防士などの業務に長年従事した人をたたえる「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では21人の方が受章されました。おめでとうございます。

※掲載の許可をいただいた方のみ掲載しています。(敬称略)

●平成29年 春の叙勲

旭日小綬章

根本 清美

(現(公社)茨城県薬剤師会長)

瑞宝小綬賞

中谷 健一 (元関東経済産業局
資源エネルギー部電源開発調整官)
野口 二夫 (元茨城農芸学院長)

旭日双光章

浅沼 博

(元全東栄信用組合理事長)

瑞宝双光賞

篠原 茂明

(元国土地理院測図部管理課長)

板東 與實

(元国土地理院地理情報部業務課長)

渡邊 勝吉

(元東京航空地方気象台次長)

第28回 危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

後藤 建夫 (元警視庁警部)
滝田 宏 (元警視庁警視)
武末 龍二 (元警視正)
中野 正勝 (元警視庁警部)
畠山 貞男 (元警視庁警部)
藤田 勝弘 (元警視正)

瑞宝単光章

鳥集 明 (元警視庁警部補)
長田 豊 (元警視庁警部補)
山本 春夫 (元警視庁警部補)



「牛久の日給食」実施

みんなが楽しみ 「うしく河童西瓜」

6月13日、市内公立小中学校で「牛久の日給食」を実施しました（公立保育園は6月23日に実施）。この日の献立はご飯、牛乳、鶏肉の照り焼き、牛久野菜サラダ、じゃがいものみそ汁、うしく河童西瓜。シャリ感と甘さが特徴の「うしく河童西瓜」は茨城県の青果物銘柄推進産地指定を受けていて、生産数がとても少なく貴重なスイカです。

牛久南中学校の生徒たちは「甘くておいしい」、「年に1度のスイカを楽しみにしていました」と笑顔で食べていました。



牛久小児童「ぼうさい探検隊」

地域の防災再確認

6月16日、牛久小学校の4年生が地域の人たちと町の防災と福祉を再確認するため「ぼうさい探検隊」を行いました。当日は、牛久小学校地区社協の方々がサポート。子どもたちは防災、防犯、交通の点で気付いたこと、感じたことを実際に学区内を歩きながら記録しました。その後、学校に戻り探検の結果をマップにまとめました。子どもたちにとって地域の人たちとの交流が深まり、地域への関心が高まった活動となりました。



第10回うしくフラワーコンテスト

花の魅力がいっぱいに

「第10回うしくフラワーコンテスト」が5月21日から28日の期間開催され、愛好家によるハンギングバスケットとコンテナガーデンの作品が中央生涯学習センター駐車場に並びました。

今年の応募数は、ハンギングバスケットが64点、コンテナガーデンが77点。主催するうしく花と緑の会神戸幸子会長は、「今回で10回目だが、年々レベルが上がってきている。花を魅せる工夫が上手になった」と話していました。



「うしく河童西瓜」と「牛久の小菊」の目揃会

今年もできました！牛久の名産品！

●「うしく河童西瓜」目揃会

牛久のブランド農作物である「うしく河童西瓜」の目揃会が6月5日に行われ、東京市場等へ約400玉が出荷されました。並べたスイカをたたいて実のつまり具合や転がして形状を確認し、等級に分け、大きさごとに梱包しました。

JA竜ヶ崎西瓜生産部会の倉嶋清貴くらしませいき部会長は「今年のできもいいですよ。ミツバチによる着果もうまくいったので甘くておいしいスイカができました」と話していました。



1

●「牛久の小菊」目揃会

6月9日、JA竜ヶ崎花き園芸部会の小菊目揃会が行われ、小菊の出荷が始まりました。

最近人気の清楚かつ上品な雰囲気がある小菊。牛久の小菊は、県内のJAで生産量・販売額共に第2位で、茨城県知事より「銘柄産地指定」を受けている「ブランド農産物」のひとつです。

今年は雨が少なかったため、多少丈が短いものの、品質は良好です。「牛久の小菊」は市内直売所やスーパーなどで購入できます。



2

- 1 西瓜の品質を一つ一つ丁寧に生産者が確認します
- 2 市場の販売状況や出荷基準、荷造りなどについての説明を、真剣な眼差しで聞き入る生産者の方々



生産者からの園児へ新鮮なソラマメが届きました

ソラマメさやむき初体験！



- 1 ソラマメの色、形、匂い、感触を体験しました
- 2 「見て〜ソラマメくん出てきたよ!!」と喜んでいました
- 3 「早く食べたいな〜♪」茹で上がりが楽しみです

6月1日、向原保育園で、ソラマメの皮むき体験を行いました。

参加したのは、きりん組4・5歳児15人。硬いさやから、小さな手で大きなソラマメを一つずつ丁寧に取り出しました。

「おへそがあるよ!」「ソラマメのベッドってふかふかなんだね!」と子どもたちは大興奮。特に、「ぜひ子どもたちに」と生産者の相川一夫さん(女化町)からプレゼントされた珍しい赤茶色のソラマメには、みんなビックリしながらも、興味津々でした。

ソラマメは、その場ですぐ茹でられ、子どもたちのおやつになりました。あっという間にみんな完食。なかには、皮付きのまま食べる子も。「皮もおいしいよ!」みんなキラキラの笑顔でした。



さくらぐみ



子どもたちはザリガニのようすかんさつうちかえ様子を観察し、お家に帰しました

うしく ほうくえん とも え か
牛久みらい保育園のお友だちがザリガニの絵を描きました。
ほうくえんちが ようすいろ つか
保育園近くの用水路で釣ってきたザリガニ。子どもたちは割りばしペンを使っ
すみ か え いろ め
て墨でザリガニを描き、絵の具で色を塗りました。工夫したことはザリガニの色
あか くら ちゃいろ え ぐ ま ひょうげん とも
を赤や黒、茶色の絵の具を混ぜて表現したこと。お友だちのキャンバスにはたく
さんのこせいゆた えが
さんの個性豊かなザリガニが描かれました。

